甲佐町議会だより



第175号

令和2年(2020)11月16日発行 発行 甲佐町議会 発行責任者 議長 宮川 安明

9月定例会



令和元年度各会計決算の認定他……②~③ そこが知りたいQ&A……④ 一般質問 (5人) ここが聞きたい……⑤~⑨

コロナ禍の 運動会

審議を行った。

し、15日まで5日間の 会は、9月11日に開会

令和2年第3回定例

令和2年第3回(9月)定例

致、 した。 が農業の振興、 見書について慎重に審 予算など町長提出の22 佐町総合計画基本構想 訴えの提起、第7次甲 正、財産の無償譲渡 の認定、条例の一部改 ついて活発な議論を展 の生きがいづくり等に ロナウイルス感染症対 おり可決・認定・承認 議し、すべて原案のと 案件及び議員発議の意 令和2年度各会計補正 令和元年度各会計決算 議案審議においては 災害対策、 般質問には5議員 財政問題、 新型コ 企業誘 高齢者

令和元年度各会計決算額

会計の名称	歳	歳出	差 引 額
一般 会計	90億6,676万円	86億5,968万円	4億 708万円
国民健康保険	14億8,211万円	14億5,740万円	2,471万円
介 護 保 険	16億 207万円	15億1,187万円	9,020万円
後期高齢者医療	1億4,819万円	1億4,644万円	175万円
合 計	122億9,913万円	117億7,539万円	5億2,374万円

※端数処理等により差引及び合計額が合わない場合がある。

水道事業会計決算額

収益的収入	1億6,017万円	収益的支出	1億5,094万円
資本的収入	9,922万円	資本的支出	1億4,225万円

持続的に提供していくため

新型コロナウイルス感染症 となった。主な補正予算は 総額96億3343万2千円

424万9千円を増額し、

今回の補正予算は2億2

行政サービスを安定的かつ る中、地域の実情に応じた 社会的影響をもたらしてい 症の拡大が、甚大な経済的

の地方税・地方交付税等の

一般財源総額の確保・充実

本町のまちづくりの指針

画が令和3年3月に終了す である第6次甲佐町総合計

開した。

第7次甲佐町総合計画基本

の繰越金を計上したもの。 主なものは令和元年度から 者医療特別会計補正予算 **令和2年度甲佐町後期高齢** 第1号) 各特別会計の補正予算の

基本構想

関係大臣に提出するもの。

2号)

保険特別会計補正予算(第 令和2年度甲佐町国民健康

令和2年度甲佐町介護保険

特別会計補正予算(第1号)

対策に関する予算。

を求める意見書を衆参両議

員議長、内閣総理大臣ほか

源の確保を求める意見書」

新型コロナウイルス感染

急激な悪化に対し地方税財 **炡の影響に伴う地方財政の**

新型コロナウイルス感染

補正予算(第6号) 令和2年度甲佐町一般会計

10年間のまちづくりの基本 年度)を策定するにあたり 基本構想を決定した。 方針、施策の大綱を定めた

総合計画(令和3年度~12

2

ることから、第7次甲佐町

その他、審議した主な議案

等の内容は次のとおり。

審議結果一覧

区分	議案名	審議結果
認定第1号	令和元年度甲佐町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第2号	令和元年度甲佐町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第3号	令和元年度甲佐町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第4号	令和元年度甲佐町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第5号	令和元年度甲佐町水道事業会計決算の認定について	認定
承認第7号	専決処分の報告及び承認について	承認
報告第3号	財政健全化判断比率等の報告について	報告
議案第43号	甲佐町公の施設の指定管理者の指定の手続に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	可決
議案第44号	甲佐町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第45号	甲佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例の制定について	可決
議案第46号	甲佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第47号	甲佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の 一部を改正する条例の制定について	可決
議案第48号	甲佐町町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第49号	甲佐町子育て支援住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第50号	川平キャンプ場の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例 の制定について	可決
議案第51号	財産の無償譲渡について	可決
議案第52号	訴えの提起について	可決
議案第53号	第7次甲佐町総合計画基本構想について	可決
議案第54号	令和2年度甲佐町一般会計補正予算(第6号)	可決(反対2)
議案第55号	令和2年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第56号	令和2年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第57号	令和2年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
	発言の取り消しの申し出(井芹しま子 議員)	許可
発議第2号	「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方 税財源の確保を求める意見書」の提出について	可決

そこが、 金石 9月定例会 質疑から

県営中山間地域総合整備事業

場整備が予定されているが、施工箇所県営中山間地域総合整備事業で今後圃

は

Q

(A) 今回、圃場整備を3カ所予定している。 中横田の宮上地区が2.3へクタール、 にく中横田の内田地区が1.0へクタール、 上揚地区が5.20へクタールの施工予



上揚地区の圃場整備予定地

熊本甲佐総合運動公園の駐車場整備

は図られるのか。

Q

乙女地区災害公営住宅でも同様の問題

が発生していると伺っているが、

A (A) は令和4年度であり、それまでには関 に者との調整を行いながら、きちんとした は令和4年度であり、それまでには関



総合運動公園で開催されたテニス大会

A 黒カビの原因については、入居者をはい特性があることが判明した。 今回の調査結果で、特別にこの があった。今回の調査結果で、特別にこの があった。今回の調査結果で、特別にこの があった。今回の調査結果で、特別にこの があった。今回の調査結果で、特別にこの があった。今回の調査結果で、特別にこの があった。

末までに行っていく予定である。変色等を目立たなくするような処置を10月塗装を行うことで新たなカビの発生を防ぎ、また、補修については、消毒や塗膜系の

じめ地元の区長等にも説明を行っていく予

定である。

注視しながら対応していきたい。▲ 乙女地区災害公営住宅については、黒

災害公営住宅の不具合

Q

甲佐地区災害公営住宅については、

黒

たが、その調査結果と今後の対応について。

カビの発生問題など不具合が生じてい

ここが間きたい

質の問題など、

しっかり 排水や水 交通量

は、

関係課、関係機関等

計画などの問題について

なお、財政面や現状の

が増加したり、

が、どうしても、

ころは十分やり雇用や活性化につなげる

かと考えるが。

策について実施できる方 と協議を行いながら、

向で検討して行く。

した対策が必要ではない

企業誘致と環境整備対策について

道路や排水路整備など町と してやるべき 町長

新 本田 議員

進出企業(白旗グラウンド付近)

規模、 変わってくると思うが、 いる。進出される企業の 力に努めることとなって 関連施設の整備に関し協 業用水、道路等の工場等 の供与ということで、 荒田地域振興課長 町の支援として、 業種により対応は 便宜 工

地域の安全対策として、

排水路整備

橋本環境衛生課長

の中の2件で町、 害防止協定を締結し、 ては、現在、町では14の 住民団体の3者立ち合い 企業と環境保全協定や公 の排水の水質問題につい 工場等が進出した場合

ら対応していきた 十分頭に入れなが 町有地の活用等も と思うことから、 大いな材料になる

業員の雇用という面では

る方々の献身的な安い賃 法人経営は、 携わ n 策にあたって行きたいと 地域の声を聞きながら対 施設の設置等について、 カーブミラーなどの安全

それに対して周辺の環境

企業が進出する場合

地元と融和される関係が 整備や誘致を受け入れる

大事ではないかと考える

考えている。

奥名町長

も考慮し、通学路につい 大型車両が通行すること 企業誘致については、

町の活性化においても、 ことは十分行い、雇用や 町としてやるべき 排水路整備

平均1000万から20 ら200万円程度と、 し引けば、 00万円程度となってお よるが、当期純利益では ついて、法人の規模にも 従事分量配当金を差 1 0 0 万円 従 か

> 表者を集めた会議が毎月 の統合は難しいと考える。 経営方針は各法人によっ 出ている状況ではあるが グの中でも、一部に話が もある。実際にヒアリン 人を統合するとの考え方 えるためにも、 運営を行い、コストを抑 善策としては、 のとなっている。 人の経営状況は厳しいも JA主催で各法人の代 財務諸表から見ても法 違う法人同士 現在の法 効率的な その改

など、 や道路整備、 ついても、税の優遇措置 行くとともに、企業側に 路整備5カ年計画に載せ たところで整備を図って 整備にあたっては、 道

行うことと明記している。 定期的に水質検査を

農業振興について

問

農事組合法人が設立

せるため、

法人の経営統

ているが、経営を安定さ

作業料金で成り立

労働力不足や高齢化、 と抱える問題について、 今現在、法人の経営内容 されて5年が経過する中

賃

の考えは。 話もあるが、 合により経費節減を図る

収支状況は。

井上農政課長

ている。 との思いは常々から持っ 分やらなければならない ても地元対策として、十

井上農政課長

対

となっていた。 不足が全法人共通の課題 果、高齢化による労働力 に対しヒアリングを実施 され5年が経過している。 し課題の把握を行った結 昨年度において、法人 町では、7法人が設立

新たな労働力の確保に

て異なり、

援を行って行きたい。 町としても出来る限り支 合の話が出た場合には、 そのような中で法人の統 化が行われてきており、 や問題点についての共有 開催され、その中で課題

状況となっている。

内水対策について

馬門川にポンプ施設設置を国に要望 建設課長

> したが、その時の答弁で みと計画はあるのか。 いるか、また町の取り組 議を行いどこまで進んで あったが、どのような協 すみ分けをやって行くと ているが莫大な経費が掛 具体的な対策案も示され かるため国、 県、 町との

> > きないか。



して浚せつ等は県に依頼

で町が計画する内水対策 対策会議を設立したこと 池の越水等の調査、 対策工事、 3月、緑川、 団地の浸水対策を行う。 上げ工事、 策としてあゆみ橋のかさ また国、県、 今年度町で実施する対 竜野川(緑川団地調整 竜野川内水 町で昨年 の越水 北原 ぐ目的の設置であるので ラペットとして設置し越 策として県の許可が取れ 的であるが当面の越水対 げる河川改修が最も効果 緑川の内地への逆流を防 たら45m程度の擁壁をパ し行っている。断面を広 水を防ぐ計画。 馬門川の樋門の役割は、

られると思う。 を共有し効果的事業が図

議員

災害に強い町づくりがで 浚せつ予算などを増やし るのか、来年度は、 されているが、 今後樋門での対応を計画 ず一部浸水したと聞く、 草が生えている。また馬 状態だったと聞く。 Tがり上からの水がはけ **三川では、緑川の水位が** 7月の豪雨で竜野 堆積物がたまり雑 一部決壊し危険な 解決でき 竜野 河川 Ш

問

昨年の定例会で質問

田中



竜野川の様子

竜野川の今後の対策と 職員の 就業環境に

志戸岡建設課長

務を行う手順は。 間外勤務状況と時間外勤 e V が予算内で残業代を抑え 結果を紹介すると埼玉県 記事があった。その調査 時間外勤務手当の未払い 問 るよう命令書を調整して 春日部市では、多くの課 た。 以 現在の課ごとの時 前、 他県の新聞に

ある。 する河川は、必要に応じ 要望している。 するポンプ施設の整備を 内水による浸水が心配 補正でお願いする場合が て浚せつを行う。予算は 内水を強制的 国で整備をされる 町が管理 に排

ある。

間超、 の範囲内としている。 外勤務手当は、原則予算

勤務手当予算を増額し対 令和元年度より時間外

思うので「もういいよ」 問 組みの考えは、 勤務環境改善を図る取り 今後の働き方改革の中で の声掛けをお願いしたい。 と部下は、 一司が残業している 帰りづらいと

師富副町長

傾け、 くりに努めていく。 にする公平公正な職場づ 職員からの要望に耳を 頑張る職員を大切

北野総務課長

福祉課が70時間超という 建設課が月平均100時 外勤務は、 4月から7月までの時 総務課、 住民生活課 税務課、

使用予約に対する優

払う規定。ただし、時間 職員からの請求により支 行い時間外勤務手当は、 各課長からの命令を受け 状況です。時間外勤務は いる。 先順位はあるのか。 問 月前からの受付順として 奥村社会教育課長

学校や町の行事を優先

般貸出は、

2 カ

民の利用を第一に考えた ŋ 問 かったと聞いている。 応はできないか。 町 他町 民の利用ができな の方の利用によ 町

奥村社会教育課長

町外の方と差をつけるな ど今後検討する。 町内の方の受付を早め

藏田教育長

がかなうよう対応して と思う。 使用が優先されるべき 町立の施設なので町 町民の使用優先

体育館使用状況に

インフルエンザワクチン 接種費用の無料化実施を

福祉課長 無料化の実施は考えていない

> ではないか。 としても全町民を対象に した無料化を実施すべき 上でも、またコロナ対策

福島健康推進課長

が来ている。 増した場合、 る恐れがあると事務連絡 フルエンザの受給が逼迫 無料化にすることによっ エンザワクチンを幅広く てワクチンの需要量が急 厚労省からはインフル 予防接種に支障が出 季節性イン 問

井芹しま子 議員

ではないか。

奥名町長

を支給することとし、 に対して、 年度内に生まれた子ども コロナ禍の中で、 1世帯10万円 町は 9

時点での補助の実施は予 ており、 拡充する予定はないとし ンザの定期接種対象者を 定していない。 町としても、 現

化は考えていない。

えであり、

給食費の無料

月議会補正で対応する考

備え、インフルエンザ予 フルエンザの同時流行に

防接種の無料化を実施す

る自治体が増えている。

町民の健康や命を守る

問

コロナ感染症とイン

実施を 学校給食の 無料化

学校給食の目的は

問

て位置付けられている。 学校教育活動の一環とし 善に供することを目的に 発達に資し、食生活の改 児童生徒の心身の健全な 吉岡学校教育課長 学校給食法に基づき、

禍の中での子育て支援と は大きな支援策となるの らしても、また、コロナ しても学校給食の無料化 学校給食法の目的か しているが、 候非常事態宣言」を出し て行動に移している。

また、国はインフル

工

橋本環境衛生課長

熊本連携中枢都市圏で地 17市町村で設置している 町では、熊本市と周辺

災害と地球温暖化

問

球温暖化について、 効果ガスの増加による地 常気象が深刻になってい 見ても地球的規模での異 うした災害は、 各地の自治体や国で「気 の要因とされている温室 る。このような気候変動 各地で発生し、 大な被害が発生した。こ 人吉市をはじめ各地で甚 7月の豪雨災害では、 世界的に 近年全国 世界

動計画は 排出ゼロを目指すと表明 0年までに温室効果ガス 町においては、205 具体的な行

えており、

協議していく。 る施設にするか、 どう温暖化抑止に寄与す 今後も

省エネ、 業者、 ネルギー利用の最大化と 施策の推進、再生可能エ 策定している。 球温暖化対策実行計 行政の立場による 住民、

焼却場、 か。 いるが、 排出はどう考えているの よるゴミの焼却でCO 問 の建設計画が進められて 現在、 大型の焼却場に し尿処理場など 近隣5町での

橋本環境衛生課長

与する施設を目指してい 設として CO²削減に寄 回収や再資源化も行う施 た発電によるエネルギー 成推進交付金の活用を老 環境省の循環型社会形 余熱を利用し

ゴミの減量化や施設を 考える。

を基本方針としている。 エネルギー運用管理など 創エネ、蓄エネ 事

財政計画の評価 決算における中期 は

価は。 問 中期財政計画 今年度決算にお いて 0

北野総務課長

見込んでいたが、決算で 3840万6000円を 財政運営に問題はないと 善されていることから、 2000円と、 はマイナス3603万 年度内収支では、 政計画がマイナス1億 決算が改 中



令和2年7月豪雨で被災した街並み

甲佐高校を避難所に

佐々木くらし安全推進室長

甲佐高校は、

県の施設

し安全推進室長

緊急時には避難所に なると考えている

問

甲佐地区に、

堤防の

県立甲佐高校

佐野

5m程度の浸水になると 決壊等が起こった場合に してはできないのかとの を緊急の場合の避難所と 建ての建物だ。甲佐高校 ないが、甲佐高校は3階 現在、避難所となってい 物はごくわずかしかない 区の中でそれを超える建 予想されている。甲佐地 浸水想定図を見れば



り方や収容人員はどうな 必要とされる避難所のあ コロ ナ感染症対策が

問

町民の声もあるが。

佐々木くらし安全推進室長 9月6日の台風10号の

に備えた対策が必要にな 画や避難訓練など、水害 ができるように、避難計

かあるのか。

問があった。

の活用状況についての質

多面的機能支払交付金

難訓練が実際行われたと 点で具体的な指導とか避 いくかであるが、今の時

されている。

染症対策を講じた上で多 した。甲佐小学校では感

合同で避難訓練等を実施

同校は毎年、

横田地区と

して利用された。また、 震の時に数日間避難所と であるが4年前の熊本地

際に、町内の4小学校体

育館を避難所として開設

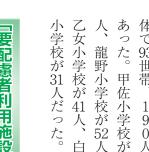
ると考えている。 には当然、避難所にもな していただくが、 あらかじめ避難ができる 今回の台風のように、 町の施設を利用 緊急時 外も開放して収容した。 目的ホールなど体育館以 避難所の運営は、

安春

議員

ど、従来とは全く違った 毒や定期的な換気するな 調査を行う。こまめな消 避難者に対しての検温等 るためスペースの確保や が重要。充分な間隔を取 症対策に万全を期すこと 避難所運営になると考え

乙女小学校が41人、白旗 あった。甲佐小学校が66 体で93世帯、 小学校が31人だった。 人、龍野小学校が52人、 当日の避難者は、 190人で 町 全





者利用施設」では、洪水 医療施設などの「要配慮 祉施設、学校、保育園、 問 などにおいて迅速な避難 る地域において、 浸水が想定されてい 社会福

問

避難訓練をどうして

その他に

が 41、 る。 るが、状況はどうなのか。 然進んでいない現状があ 数は0となっている。 年1月1日現在の施設数 町においては、 避難確保計画施設 令 和 2 全

佐々木くらし安全推進室長

画を作成頂いた。 全ての施設で避難確保計 定を7月20日付で依頼し られた避難確保計画の策 者等に対し、 配慮者利用施設」の管理 訓を踏まえ、 による高齢者施設での教 7月豪雨の球磨川氾濫 法律で定め 町では「要

きそれぞれの施設で避難 を高めていく。 町も今回の計画書を精査 を実施して頂きたいし、 行動がとれるように訓練 今後は、計画書に基づ 施設とともに実効性



佐々木くらし安全推進室長 基本的には、 各施設が

に行われるように指導や 助言を行っていきたい。 講師の派遣や訓練が適切 を実施される場合等には とになるが、 自主的に実施していくこ 研修や訓練

るが、 要とされると思う。 たっての指導もしっかり 室からの指導が当面は必 い段階では、くらし安全 是非とも、 何も行われていな 自主的に行うとあ 訓練に

とやっていただきたい。

緑川沿いの養護老人ホーム

高齢者が生きがいづくりとして に携われる環境整備を

町長



町長 えは。 寿命を延ばす対策も重要 行っていくためにも、 であり、その手段のひと を超えた。今後は、 の環境整備を今まで以上 ると考えるが、 に推進していく必要があ 本町の高齢化率は38% 町長の考 健康

甲斐 高士

議員

問

井上農政課長

花火などによる追い払い 駆除のほかに、ロケット をお願いしている。 銃火器やわなを使った

つとして農業は非常に大

早期に策定する必要があ 獣ごとの個別対策計画を 拡大傾向にあり、 ると考える。 しかしながら被害は 有害鳥

問

の方々の意見を参考にし 先進地事例や被災農家 組まれている。 まさしく、

高齢化が進

ていただきたい。

喫緊の課題と捉える。

展しており、

その対策 高齢化が進

問

本町は、

事であると認識している。

ながら、

鳥獣駆除対策を 歩踏み込んだ有害

られても、 がいとして農作物を育て くしかねない。 よって荒らされてしまえ 取り組む意欲すら無 高齢者の方々が生き 有害鳥獣に

る。

健全な行財政運営を

ば、

そ

出というものが考えられ

ることによる生きがい創 策のひとつに農業に携わ

問

くりが求められ、その対

今後は、元気高齢者づ

のか。 て、 竜野地区の山間地におい ような対策を講じている しているが、町ではどの 近年、特に宮内、 猿による被害が増加 甲佐



り事業 ウを生かした里づく 宮内地区のサンショ

地化が図られ、事業の成

度からサンショウを生か した里づくり事業に取り 宮内地区では、 昨年 いただきたい。

歩踏み込んだ対策を講じ 今まで以上に一

町長

ある。 がら積極的に取り組んで を参考に、研究を重ねな 懸案となっている課題で いきたい。 有害鳥獣被害は非常に 全国的な優良事例

事業であると捉えている。 高齢化対策のモデル的な 進展する本町において、 問 今後、サンショウの産 本事業は、 高齢化が

含め、前向きに検討して していくためにも、最大 果が上がり地区が活性化 限の支援を受益者負担も その他 も質問を行った。 る農地の利活用について 特定農地貸付法に関

む宮内地区にお 行ってきておられるのか。 ではどのような支援を ている事業であるが、 の一環として取り組まれ 区住民の生きがいづくり いて、 町 地

井上農政課長

に関し、県から1/3、 支援を行う予定である。 苗木の購入助成と合わせ 行った。今年度からは、 町から1/3の助成を た加工品開発についても て、サンショウを活用 昨年度は、 苗木の購入

昨年植え付けられたサンショウの苗木

町長

字ではないと判断して 3であり、 について、 苗木購入の受益者負担 決して低い数 補助率は2

る。 究を重ねていきたい。 業成果が上がるように研 えであり、 について支援していく考 販売戦略、 今後は加工品の開発や 町としても事 販路開拓など

甲佐町に移住して」

緑町区

岡本 久 子

を中心に、飲食店や自然、 を町内外に向けて発信しています。 の経験を活かし、ウェブマガジン ようやく1年が過ぎました。現在は、広告デザイナーとして 昨年の7月より地域おこし協力隊として甲佐町に移住 文化などを取材し、 (magazine-BO) の作成 甲佐町の魅力

を通じ、 キャンプやバーベキューを楽しませてもらい、 いた時にはできなかった遊びや暮らしを体験する日々です。 しく暮らしています。最近では、近くに住む方々と町内で ても良くしてくださるので、寂しさを感じる間も無く毎日楽 新たな地での生活に不安を感じましたが、これまでの活動 たくさんの方と知り合う事ができ、また、皆さんと 町外に住んで

求める素材の宝庫だと思います。 い自然の空気感と楽しみ方など、甲佐町はこれからの時代が す。季節ごとの美味しい農作物や加工品、 その度に、 自然豊かな甲佐町の魅力に改めて気付かされま 市内では味わえな

発信していきたいと思っています。 の方々に知って頂きたく、 そのような甲佐町のすばらしい魅力を、 協力隊として今後も積極的に情報 もっともっと多く

熊本県町村議会議長会 議員研修会に参加して

県立劇場で開催され 参加してきた。 長会議員研修会に、 た熊本県町村議会議 10月2日に、熊本

の山村武彦氏が講師 システム研究所所長 研修会では、



として招かれ、「こ 方」という演題に基づき講演が行われた。 れからの防災のあり

)定例会は、12月

要とされる三要素、「自助」、 重要というものであった。 え、これからの時代は、「互近助」(ごきんじょ) 高齢化が進展する本町において、 講演の中で特に印象的だったのが、 「共助」、「公助」に加 向こう三軒両隣 防災対策に必

修会であった。 に助け合うことの重要性を改めて感じさせられた研 という言葉があるように、 隣人を大切にしてお互

町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。 お気軽にお越しください





日開会の予定です。



じなくてはならないと感じ らゆる分野で活性化策を講 がタイアップしながら、あ する必要があると思う。 者が後を絶たない状況のな 活用するため、行政と議会 症対応臨時交付金を有効に か、今、何をすべきか議論 新型コロナウイルス感染 新型コロナウイルス感染 (宮本 修治)

像配信は中止いたします。 思われるマイクシステムの て放送システムの故障 ご了承ください。 故障)により、一般質問映 会当日未明の落雷が原因と ※第3回定例会におきまし 開

(議会事務局)

議会広報編集特別委員会

委 副委員長 員 長 員 佐野 宮本 甲斐 安春 修治

※令和2年第4回(12月

委 委 員 員 鳴瀬 森田 美善 精子

員

委

議会だより

甲佐町

第 175 号 2020年11月16日発行

> この議会だより、清流に は再生紙を使用しています。